

取組み成果・波及効果

1、ハード面

新たなオンデマンド印刷機の導入により、従来の旧タイプの印刷機に比べ具体的に次のような改善成果が出てきた。

課題・懸案事項	DC7000 (旧タイプ印刷機)	C1000press (導入機)
印刷時間	A4片面カラー 70枚/分	A4片面カラー 100枚/分
用紙の種類	コート紙・上質・マット	左記に加え レザック・GDP用紙
用紙の形状変化	用紙の波打ちや変形が多発	左記の現象がほぼゼロ
印刷時の色	印刷時に毎回変化	測色機内蔵で自動調整
振紙	色合せ・表裏の合わせで振紙多数	全てのJOBで8枚以内でOK
特殊技術	特になし	クリアニス搭載で擬似エンボス

印刷機名称	稼働時期別印刷枚数>	
	2012/06/01～2013/03/31	2013/06/01～2014/03/31
DC7000 (更新前の印刷機)	約50,000枚	
C1000press		約108,000枚

2、ソフト面

分析レポートの作成・報告の機会を通じて、顧客と当社が顧客課題の共通認識を有することとなり、顧客との一層の取引振興・拡大に結びつく手段となっている。実際2先の顧客に対して顧客分析レポートを提示、今後の継続採用、取引の深耕へ向けた革新的な手法の確立へ向けた感触を得ている。



3、収益面

原材料の効率的な使用による原価の削減と同時に、作業人員の配置削減、作業効率化の実現による作業時間や残業時間の削減等により大幅な人件費削減効果が出てきた。

今後の展望

今後、雇用拡大や労務管理において、熟練作業員に代わる若手作業員の採用、新たな分野への人員配置等労務管理の面での効果が期待できる。今回の補助事業の成果を踏まえ新たな営業活動を展開することが可能になった。引き続き今後は、流通・小売業界などのDM等の販売手段を用いる業態の事業所に対して、毎年4～5社をターゲットにした提案型営業を展開し、ノウハウと実績を積み重ねながら、印刷会社としての販路拡大、新規開拓を推進する。

最後に

新しいオンデマンド印刷機を導入することで、ハード面の改善を図れることに加えソフト面で付加価値を見出し、新たな営業展開に活用する本件補助事業の成果や将来性は大いに期待できるものがある。

事業者の概要

株式会社インテックス

代 表 者	代表取締役 内田信康
住 所	〒850-0046 長崎県長崎市幸町 6-3
設 立 年 月 日	昭和 39 年 9 月 15 日
資 本 金	1,000 千円
電 話 番 号	095-826-2200
F A X 番 号	095-826-2201
U R L	http://www.in-tex.co.jp/
業 種	印刷・同関連業
従 業 員 数	72 人